

タイトル… 汐製菓会社の新作「ラムネ」

登場人物…

- ・ 汐（30代）… 汐製菓会社社長。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに奇想天外な菓子商品を発案する。快活な性格。
- ・ 塩田（30代）… 汐の秘書の女性。真面目で心配性な性格。汐の発想にいつも振り回される。実は大のお菓子好きであり、その為に製菓会社に就職。

シーン1：汐のオフィスー朝

オフィスには様々な奇抜なお菓子のサンプルが並んでいる。汐はデスクに座り、何かを考え込んでいる。塩田が書類を持って入ってくる。

塩田…社長、おはようございます。本日のス
ケジュールをご確認いただけますか？

汐…（目を輝かせて）おはよう、塩田さん！ち
ょうどいいところに来てくれた！新商品のアイ
デアが閃いたんだ！

塩田…（少し不安そうに）またですか？前回
の「わさびチョコレート」は市場調査で散々な
結果でしたが…。

汐…（自信満々に）でも一部のマニアには大好
評だったじゃないか！今回はもつとすごいん
だ。ラムネの新フレーバー、その名も「ガパオラ
イス味」！

塩田…（驚いて）ガ、ガパオライス…ですか？そ
れは飲み物としてどうなのでしょう…。

汐…（情熱的に）想像してごらん！爽やかな
炭酸とエキゾチックな香りの融合！これは世
界を驚かせる大ヒット間違いなしだ！

塩田：（心配そうに）でも、市場の反応はどうでしょうか。まずは社内で試飲会を開いてみるのはいかがでしょうか？

汐：（即答で）いいね！早速開発部に試作品を作ってもらおう！

塩田：（メモを取りながら）では、開発部に連絡しておきます。

汐：（立ち上がって）それと、今日はタイ料理店に行って本場のガパオライス进行研究しよう！

塩田：（苦笑して）わかりました。予約を取っておきますね。

二人はオフィスを出て行く。

シーン2：タイ料理店 | 昼

賑やかなタイ料理店。スパイシーな香りが漂う中、汐と塩田がテーブルに座っている。目の前にはガパオライスが並んでいる。

汐…（一口食べて）うーん、この香り！この味をラムネに再現できたら最高だ！

塩田…（汗をかきながら）でも、かなりスパイシーですね…。ラムネとしては刺激が強すぎるかも。

汐…（興奮して）そこがポイントだよ！辛さと爽やかさの融合、新感覚だ！

塩田…（困惑しながら）消費者が受け入れてくれるといいのですが…。

汐…（ニヤリと笑って）心配しないで。人々は常に新しい体験を求めているんだよ。

隣のテーブルで外国人観光客がガパオライスを食べている。汐は彼らに話しかける。

汐：(英語で) Excuse me, do you like
Gapao Rice?

観光客：(「はい」) Yes, it's delicious!

汐：How about drinking it as a soda?

観光客：(驚いて) Soda? Gapao flavor?

That's...interesting.

汐：(嬉しそうに) See? Interesting! Thank
you!

塩田：(小声で) 社長、それは興味本位で言
っているだけでは…。

汐：(自信満々に) いや、これは世界に通用す
る…。

塩田はため息をしながらも、内心では少し
期待している様子。

シーン③：開発部 - 翌日

開発部のラボ。白衣を着たスタッフたちが試作品を作っている。汐と塩田が見守っている。

開発スタッフ：（不安そうに）社長、本当にガパオライス味のラムネを作るんですか？

汐：（元気よく）もちろんだ！新しいチャレンジを恐れてはいけない！

開発スタッフ：（試作品を見せながら）一応、試作品ができましたが、味見してみますか？

汐：（手を伸ばして）待ってました！さあ、飲んでみよう！

汐が試作品を一口飲む。

汐：（一瞬固まり、その後笑顔で）これは…予想以上にパンチが効いてる！いいぞ！

塩田：（恐る恐る試飲する）いただきます…。

塩田は一口飲んで、目を丸くする。

塩田…(咳き込みながら) これは…なかなか独特ですね。

開発スタッフ…(申し訳なさそうに) まだ改良の余地がありますね。

汐…(ポジティブに) そうだな、もう少し辛さを抑えて、甘みを足してみよう！

開発スタッフ…(メモを取りながら) 了解しました。再度調整してみます。

塩田…(小声で) 本当に大丈夫なんですか…。

汐…(肩を叩いて) 大丈夫さ！失敗を恐れずに進もう！

スタッフたちは再度試作に取り掛かる。

シーン④：社内試飲会 | 数日後

大きな会議室に社員たちが集まっている。テーブルの上には「ガパオライス味ラムネ」のボトルが並んでいる。汐が前に立ち、プレゼンを始める。

汐：（熱心に）皆さん、本日は我が社の新作、「ガパオライス味ラムネ」の試飲会にご参加いただきありがとうございます！

社員A：（ひそひそと）本当に大丈夫なのか…。

社員B：（興味津々に）まあ、飲んでみないとわからないよ。

汐：（続けて）このラムネは、タイの伝統的な味を爽やかな炭酸と組み合わせた、全く新しい体験を提供します！さあ、皆さん、ぜひ試してみてください！

社員たちはボトルを手に取り、恐る恐る飲み始める。

社員○：（飲んで驚く）おお、これは…意外といけるかも？

社員□：（首をかしげて）うーん、でもやっぱりデザートには合わない気が…。

社員◇：（笑いながら）BBQパーティーにはいかもしれないですね！

塩田△：（汐に向かって）社内の反応は微妙ですね…。

汐△：（ポジティブに）でも、ポジティブな意見もある！これは改良の余地があるということだ！

突然、一人の社員が手を挙げる。

社員□：（興奮して）社長！このラムネ、カクテルに使ったら面白いと思います！

汐：（目を輝かせて）それだ！新しい市場が見えてきたぞ！

塩田：（少し安心して）なるほど、その手がありましたね。

汐：（高らかに）よし、次はバーでのプロモーションを計画しよう！

社員たちは少し盛り上がり始める。

シーン5：高級バーでのプロモーションイベント一夜

おしゃれなバー。多くの客が集まっており、特設カウンターでは「ガパオライスムネ」を使用したカクテルが提供されている。

バーテンダー：（シェイカーを振りながら）特製ガパオモヒート、お待たせしました！

客A: (一口飲んで) これは新しい！スパイシ
ーで爽やかだね。

客B: (興味津々に) 他にもどんなカクテルが
あるの？

汐: (満足げに見守りながら) 見てごらん、塩
田さん。みんな楽しんでるよ！

塩田: (嬉しそうに) 本当ですね。まさかお酒
との相性がこんなにいいとは思いませんでし
た。

有名フードブロガー: (カメラを回しながら) こ
れは新感覚のカクテルですね！SNSでバズリ
そうです！

汐: (その声を聞いて) お、これは大きいぞ！
メディアにも取り上げられるチャンスだ！

突然、海外のバイヤーらしき人物が汐に話し
かける。

海外バイヤー：(英語で) Excuse me, are
you the creator of this drink?

汐：(英語で) Yes, I am. What do you think
about it?

海外バイヤー：(興奮して) It's amazing!
We'd love to introduce this product in
our country. Can we talk business?

汐：(喜んで) Of course! Let's discuss the
details.

塩田：(驚いて) 社長、これは大チャンスです
ね！

汐：(ウインクして) 言っただろう？「面白い
」とも無き世を面白く」ってね。

二人は笑顔で握手を交わす。バーはますます
盛り上がりを見せる。

シーンの：汐のオフィスー数週 間後

オフィスには「ガパオライスラムネ」のパッケージが並んでいる。テレビでは商品のCMが流れている。

CMナレーション：「新感覚！ガパオライスラムネ！あなたの喉にエキゾチックな刺激を！」

汐：（満足げに）ついにここまで来たなあ。

塩田：（報告書を持って）社長、国内外からの注文が殺到しています！生産ラインを増やす必要がありますね。

汐：（嬉しそうに）いい知らせだ！みんなの努力が実ったな。

塩田：（微笑んで）社長のアイデアがあっつてこそですよ。

汐…(謙遜して) いやいや、チームワークのおかげさ。次は何を作ろうか…。

塩田…(少し不安そうに) また新しいアイデアですか？

汐…(楽しそうに) もちろん！次は「寿司味チヨコレート」とかどうだろうか？

塩田…(目を丸くして) し、寿司味ですか？また大変なことになりそうですね…。

汐…(笑って) だから面白いんじゃないか！さあ、また一緒に頑張ろう！

塩田…(苦笑しつつもやる気を出して) はい、社長！

二人は新たな挑戦に向けて意気込み、オフィスには活気が溢れている。

エンディング

画面がフェードアウトし、スタッフロールが流れる。バックグラウンドには「ガパオライスム」のCMソングが流れている。

終わり